

黒河(くろこ)の会便り 第24号

謹賀新年

新年おめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

天候に恵まれた暖かい正月元旦、我が家でも定福寺と八幡宮に家族でお参りし、健康と安泰、そして黒河道の世界遺産への追加登録を祈願してまいりました。



【定福寺本堂】



【八幡宮】

◆お般若

定福寺では正月5日、恒例の「お般若」という行事が執り行われました。これは大般若波羅蜜多經600巻を奉読するものです。大般若波羅蜜多經とは「空」という仏教的な考え方について、釈迦が16度にわたって説教した内容を、唐の玄奘三蔵法師が4年の年月をかけ漢文に翻訳したもので、そのダイジェスト版が般若心經と云われています。平安時代以降、村の災いを取り除いてくれる經典として各地に普及し、紀北地方にも多く残っています。ここ定福寺に伝わる「お般若」の行事は本堂に檀徒総代が列席し、生地住職による大般若經奉読のあと、各檀家に家内安全無病息災の祈祷札が配られます。



(大般若波羅蜜多經)



(木箱に100巻づつ入っている)



(第1巻)



木造阿弥陀如来坐像（定福寺）

【和歌山県指定文化財】

（穏やかな表情の阿弥陀如来）



【定福寺お般若祈祷札】



修正会など新春の祭事で授与される災厄除けの護符

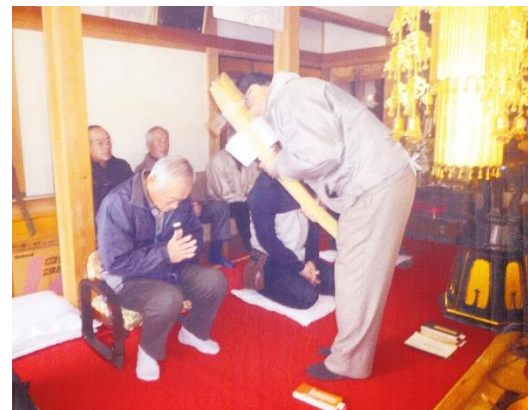
【牛玉宝印^{ごおうほういん}】

◆修正会（しゅしょうえ）

定福寺恒例の修正会が1月11日、堂ノ講保存会 によって執り行われました。（秘仏の本尊阿弥陀如来像は正月と盆に開帳されます） 今年は新規入講者が有り保存会会員は15名となりました。伝統あるこの行事を地域の無形文化財として大切に伝えて行きたいものです。



【弓放ち】九重の石塔（橋本市指定文化財）前にて



【お精根入れ】

◆春の高野山登り

高野七口再生保存会では春に、黒河道の高野登山を考えています。桜の咲く頃（3月末～4月上旬）に実施できるよう計画中です。詳細は25号でお知らせします。

昨年10月7日、「黒河道」は 高野参詣道として国史跡に認定されました。現在は「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録をユネスコに申請中です。九度山の町石道と慈尊院の様に「黒河道と その起点 定福寺」の存在と価値が より多くの方に認知されるよう「黒河の会」でも活動を続けてまいります。

ことしも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

黒河の会 山本 一清

蠟梅^{ろうばい}の香^{かほ}りも解^{ほど}く黒河道^{くろこみち}

蘇風